

# とやま

1999  
1  
No.360

県広報とやま  
▲富山県

特集／県政世論調査



富山市立池多小学校「白鳥探検隊」の子どもたち



一年中

チューリップに会える

【チューリップ四季彩館】



アトリウムが印象的な外観



チューリップのことが何でもわかる (チューリップミュージアム)



一年中、チューリップが咲き誇ります (チューリップスクエア)



チューリップグッズがいっぱい (ミュージアムショップ)



レポーター 早苗 万喜さん (四季彩館職員)

砺波チューリップ公園に隣接するチューリップ四季彩館は、大きなガラスのアトリウムが印象的。館内には花と緑があふれています。

チューリップテラスは、四季折々の花々を使った大型ディスプレイが楽しめる花の広場。ときには、花に囲まれた結婚式も行われます。

チューリップミュージアムは、チューリップのことなら何でもわかる博物館。原生地の中央アジアからトルコ、オランダを経て砺波へとやってきたチューリップのルーツから現在までを詳しく紹介しています。

そして、チューリップ四季彩館の目玉が、三千〜五千本のチューリップを一年中楽しめる(チューリップスクエア)です。

皆さんは、どうして一年中チューリップを咲かせることができるのでしょうか?

いまの季節に咲いているのは促成栽培されたもの。夏から秋にかけて球根に低温を与えることで、自然の開花期

よりも早く花を咲かせます。

一方、夏から秋にかけて咲いているのは抑制栽培されたもので、アイスチューリップと呼ばれます。球根を土に植え、根が十分伸びてから零下二度の冷凍庫に入れると、生育は一時ストップします。そして開花させたい時期の二〜三週間前に取り出して解凍し、十五度で二日間順化させた後、戸外に出すと、チューリップは、ようやく遅い春が来たと思つて花を咲かせるんです。

館内には、このほか、チューリップ染めのハンカチや、香水、入浴剤などがそろった(ミュージアムショップ)、ソフトクリームがおいしい(レストラン)もかかれ庵などがあります。

先ほどご紹介した(チューリップテラス)では一月二十一日からバレンタインデーにちなんだ企画展示もはじまります。ぜひ、遊びに来てください。

Map and information for the Tulip Museum, including location, hours, and ticket prices.

年頭の辞

新しい年を迎えて

富山県知事 中沖 豊



明けましておめでとうございます。県民の皆様とともに一九九九年の新春を寿ぎたいと存じます。

今年はずきずきの年。明るく元気に飛び跳ねるうさぎにあやかっ、今年一年が、県勢と県民の皆様方にとって大いなる「飛躍の年」になりますよう心から願ってやみません。

今日、「地球時代」「人口減少・高齢化時代」「高度情報化時代」といった新たな時代潮流の中で、内外ともにまさに「大変動の時代」を迎えております。

こうした先行き不透明な時代は、何よりも、明確なビジョンを持ち、これを勇気を持って着実に実行していくことが極めて重要であります。

富山県では、新富山県民総合計画に基づき、「人材立県」「生活立県」「国際立県」の三つの立県構想を掲げ、全国に誇ることができるすばらしいふるさとづくりを積極的に進めてきております。

お陰をもちまして、本県は、「住みよい県」として全国トップレベルの評価を受けておりますが、今後さらに「住みたい県」へ発展するよう全力を尽くしてまいります。また、「環日本海時代を迎え」「環日本海交流の中核拠点・中心県」をめざしたいと考えております。

このため、日本海国土軸の形成に努めるとともに、北陸新幹線、高速自動車道、富山空港、伏木富山港をはじめとする総合的な高速交通体系の整備、日本海ミュージアム構想の推進、財団法人環日本海環境協力センターへ

の支援、北東アジア地域自治体連合の活動などに積極的に取り組んでまいります。

さらに、今年には、国際健康プラザ、総合福祉会館、水墨美術館などが開館しますが、引き続き、県民福祉条例や県民文化条例に基づく健康・福祉・文化の充実、景気雇用対策や二十一世紀産業ビジョンの策定等産業の振興、2000年とやま国体に向けたスポーツの振興や県民総参画の県民運動などを進めてまいります。

また「北東アジア・メッセinとやま」「第35回献血運動推進全国大会」など全国的なイベントが本県で開催されますが、富山県の魅力の数々を全国の皆さんに知っていただく絶好の機会でもあります。本県のイメージアップを一層図ってまいりたいと考えておりますので、県民の皆様のご支援をお願いいたします。

そして、こうした施策を着実に実行していくため、住民と地方が主役となる「地方集権」の実現と、効率的な行政運営をめざす「行財政改革」の推進に積極的に取り組んでまいります。

これからも、夢のある二十一世紀を迎えることができますよう、県民の皆様と力を合わせ、知恵も汗も出して努力してまいります。

新年にあたり、改めて県民の皆様への県政各般に対するご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、ご健勝、ご活躍、ご多幸を心からお祈りいたしまして、新年のごあいさついたします。

CONTENTS

とやま遊学感 チューリップ四季彩館 1
知事年頭の辞 2
特集 県政世論調査 3
ビンナップとやま 7
写真●松田 勉(富山県写真家協会会員) 詩●上木行博(富山県現代詩人会会員) 9
クローズアップ 雪の季節も安全・快適に トピックス 11
健康ひとくちメモ 13
県の施設の催しガイド 14
表紙撮影●赤羽仁論(富山県写真家協会会員)

今月の表紙から

富山市の田尻池には、この冬もたくさんのハクチョウが越冬のために訪れ、羽根を休めています。近くにある池多小中学校では、昨年十一月に「白鳥探検隊」が誕生。現在、全校生徒六十五名のうち二十名以上が参加し、白鳥の観察や保護に取り組んでいます。「白鳥は自分たちの誇り」。子どもたちの表情からは、そんな意気込みが伝わってくるようです。







# 平成10年度 県政世論調査

県では、県民の皆さんが県政や日常の諸問題にどのような関心や期待をお持ちか、その状況を把握し、県政を進めるうえでの基礎資料とするため、毎年、県政世論調査を実施しています。

第29回を迎えた今回は、県内の成年男女1200人を対象に、次の項目について、調査員による個人面接方式で調査を行いました（回収数 941人 回収率78.4%）。

ここでは、その概要を紹介します。

## 調査項目

1. 福祉のまちづくり
2. 保健医療
3. 健康づくり
4. スポーツ
5. 2000年国体
6. 図書館の利用
7. 方言意識
8. 少年非行防止
9. 交通マナーの向上方策
10. 公園
11. 地域公共交通のあり方
12. 情報化施策
13. お米の消費
14. プライバシーの保護
15. 施設の利用
16. 公聴・広報
17. 施策の認識
18. 県政への要望

## 福祉のまちづくり

高齢者や障害者が安全・快適に生活できるようにするためには、ソフト・ハード両面から福祉のまちづくりを進めていく必要があります。

高齢者や障害者を手助けした経験を聞いたところ、「交通機関で席をゆずった」が五四・二%で最も多く、次いで「横断歩道や階段等で手助けをした」二三・七%、「相談相手、話し相手になった」一八・九%、「車椅子を押した」一四・六%、「施設等でのボランティア活動に参加した」一一・三%の順になっており、何らかの手助けなどをした経験のある人は四人に三人の割合になっています。

しかし、これらの割合は、ボランティア活動への参加を除き、平成八年の調査に比べて低下しています。

バリアフリーを優先して整備すべき施設については、「病院、診療所」五七・七%を筆頭に、「駅、空港」、「飲食店、百貨店、マーケット、銀行」をあげる人が特に多くなっています。

一方、バリアフリーの必要性を具体的に感じていると思われる、六十歳以上の層で見ると、一位は「病院、診療所」で変わりませんが、二位は「集会場、公民館」となっ

ており、高齢者にとっては、集会場や公民館も身近な存在としてバリアフリー化のニーズが高いことがわかります。

県では、富山県民福祉条例に基づき、建築物や道路の整備などハード面におけるバリアフリー化を進めるとともに、普及啓発活動、ボランティア活動の支援などを通じて、心のバリアフリーを進めていくことにしています。

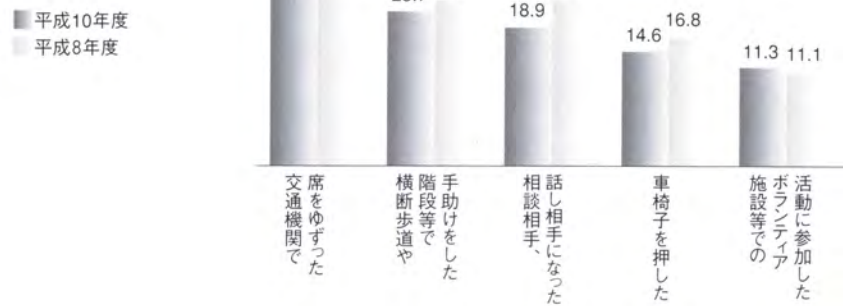
県では、「2000年とやま国体」と「きらりんびっく富山」を、県民総参加による魅力いっぱい感動あふれる祭典とするため、2000年国体富山県民運動を推進しています。

国体への参加・協力の意向を聞いたところ、「大会を観戦に行きたい」が四二・八%で最も多く、「選手を応援・激励に行きたい」も一六・八%にのぼっています。その反面、「特に参加したいとは思わない」という意見も二五・五%あり、きらりんびっくについては三四・八%にのぼっています。

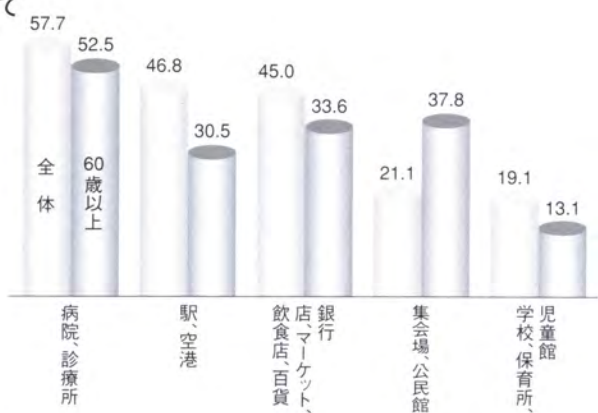
県では、今後とも、あらゆる機会を通じて国体やきらりんびっくに關する情報の提供に努めるなど、県民の皆さんの参加意識を高めていくことにしています。

## 2000年国体

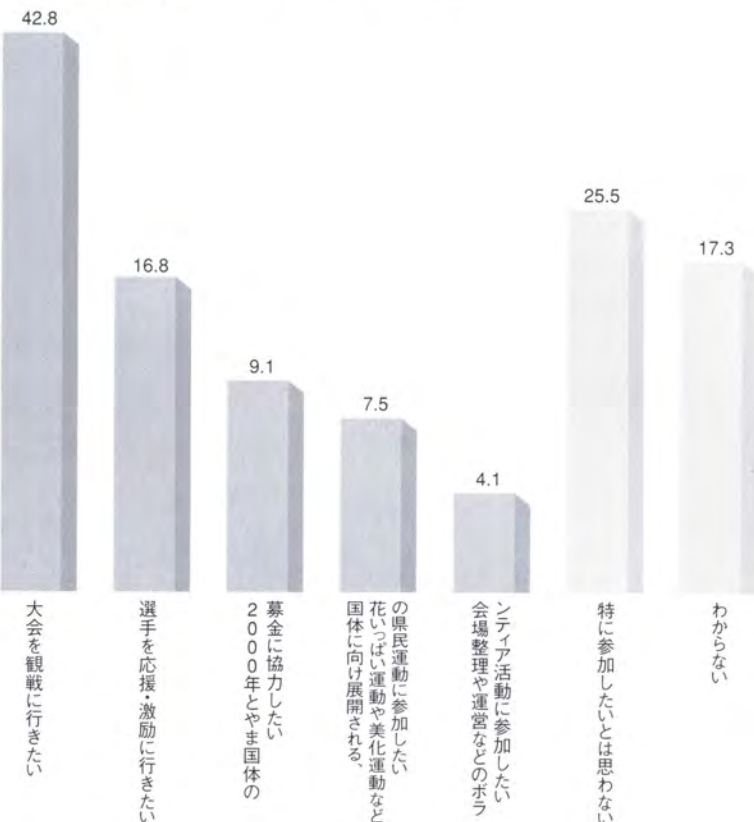
### 高齢者や障害者への手助けや交流の経験 (上位5項目・複数回答) (%)



### バリアフリーを優先して整備すべき施設 (%) (上位5項目・複数回答)

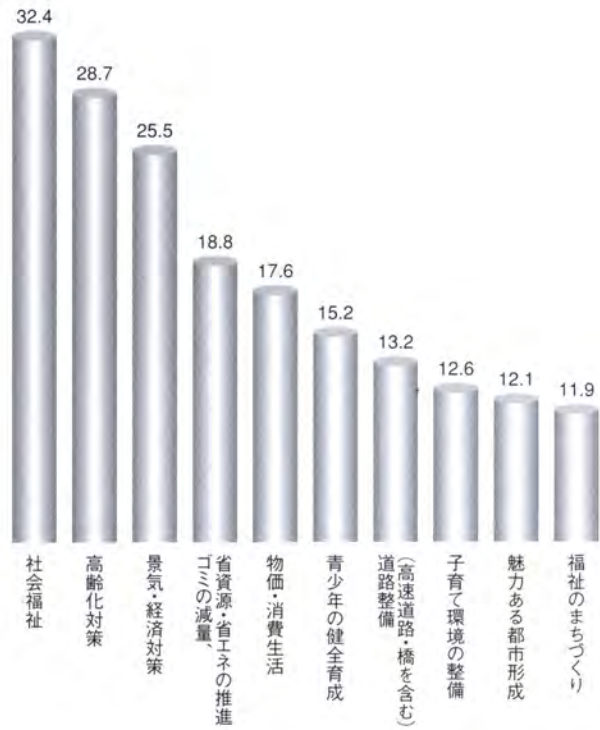


### 2000年とやま国体への参加・協力の意向 (%) (上位7項目・複数回答)





● 県政への要望 (%)  
(上位10項目・複数回答)



また、開園三年目を迎えた「中央植物園」には、早くも県民の四人に一人が訪れたことがあると答えています。

ただ、選択肢にあげた施設のうち約四割については「利用したことがある」という答えが「割未満にとどまっています。また、「どれも行ったことがない」という答えも九・七%ありました。

これからは、整備された施設の活用が大切です。県では、これらの施設でのサービス向上に努めるとともに、皆さんに知られていない施設について、積極的に広報していくことにしています。

### 県政への要望

県政への要望としては、「社会福祉」がトップ。二位が「高齢化対策」となっており、全国平均より早く進行している高齢化とそれに関連する施策へのニーズが高くなっています。

また、今回新たに加えられた項目のうち「景気・経済対策」が三位となっており、昨今の経済情勢を反映したものとみることができま

● 県政への要望・上位5項目の変遷 (平成6年度～平成10年度)

年度	H6	H7	H8	H9	H10
1位	高齢化対策 (36.7)	高齢化対策 (32.7)	高齢化対策 (38.6)	高齢化対策 (34.4)	社会福祉 (32.4)
2位	物価・消費生活 (32.8)	社会福祉 (27.5)	物価・消費生活 (28.3)	物価・消費生活 (28.3)	高齢化対策 (28.7)
3位	社会福祉 (29.8)	物価・消費生活 (26.2)	社会福祉 (27.6)	社会福祉 (26.8)	景気・経済対策 (25.5)
4位	下水道の整備 (23.5)	下水道の整備 (22.1)	北陸新幹線 (21.3)	医療・保健衛生 (22.7)	ごみの減量、省資源・省エネ (18.8)
5位	北陸新幹線 (21.4)	北陸新幹線/雇用・労働対策 (21.3)	総合雪対策 (20.6)	ごみの減量、省資源・省エネ (19.7)	物価・消費生活 (17.6)

● 県政への要望 (年代別・上位5項目)

年齢	1位	2位	3位	4位	5位
20～29歳	道路整備 (25.0)	景気・経済対策 (22.7)	スポーツ・レクリエーション (22.0)	魅力ある都市形成/北陸新幹線 (18.9)	社会福祉/子育て環境の整備/高齢化対策 (17.4)
30～39歳	社会福祉 (28.4)	ごみ減量、省資源・省エネ (25.4)	子育て環境の整備 (24.9)	景気・経済対策/高齢化対策 (20.1)	公園整備・緑化対策 (16.0)
40～49歳	社会福祉 (31.1)	景気・経済対策 (27.0)	物価・消費生活 (20.9)	高齢化対策 (20.4)	ごみ減量、省資源・省エネ (18.4)
50～59歳	社会福祉 (37.3)	高齢化対策 (36.8)	景気・経済対策 (33.0)	物価・消費生活 (20.5)	青少年の健全育成 (19.5)
60～69歳	社会福祉 (41.7)	高齢化対策 (39.9)	景気・経済対策 (28.2)	青少年の健全育成 (20.9)	物価・消費生活 (20.2)
70歳以上	高齢化対策 (41.7)	社会福祉 (37.5)	景気・経済対策 (16.7)	ごみ減量、省資源・省エネ (15.6)	道路整備/総合雪対策 (14.6)

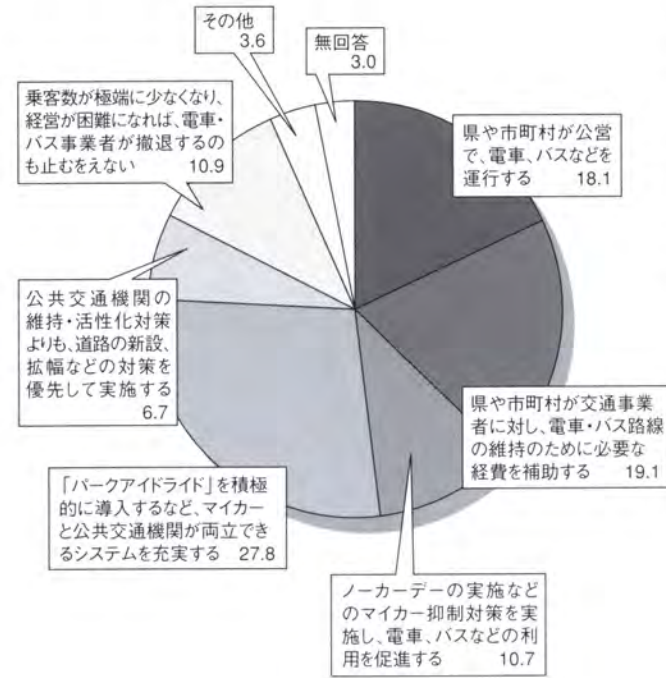
一位、七十歳代でも二位となっているのに対し、二十歳代の一位は「道路整備」、また三位には「スポーツ・レクリエーション」が入っており、年代別の特徴が現れています。

また「景気・経済対策」は、どの年代層からも高い関心を集めていることがわかります。

県では、時代とともに変化していく皆さんの要望を常にとらえながら、これからの県民の皆さんの立場に立った県政を進めていくことにしています。

問合せ 広報課  
☎ 0764(44)3133

● 地域公共交通のあり方 (%)



近年のモータリゼーションの急速な進展や、少子化に伴う通学者数の減少などにより、公共交通機関の利用者は年々減少し、十年前に比べ、鉄(軌)道では一五%減、乗合バスでは約半分にまで落ち込んでいます。

このような中、住民生活の足にいかん確保していくのが、大きな課題となっています。

地域公共交通のあり方について聞いたところ、「県や市町村が公営で運行する」、「県や市町村が路

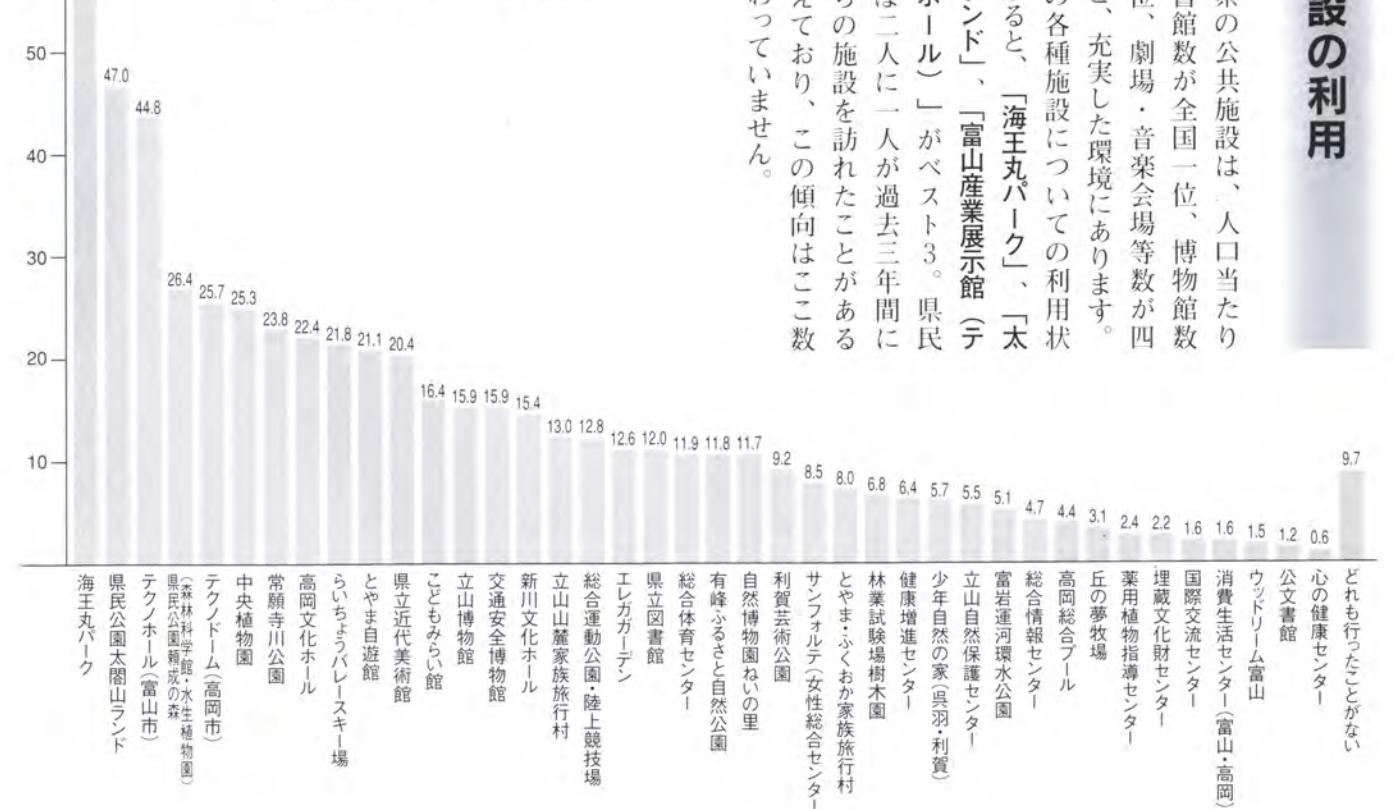
線維持のために補助する」など、行政の積極的な関与を求める意見が四割近くを占めた一方、「パークアライド」などマイカーと公共交通機関が両立できるシステムに期待する意見が三割近くありました。

公共交通機関は、県民の通勤通学や日常生活に欠かせないものであり、また、温暖化防止など地球規模での環境問題に対応していくうえでも、その積極的な活用が必要とされています。

このため、県民一人ひとりが、マイカーに依存したライフスタイルを見直していくことが望まれます。

### 施設の利用

● 各種施設の利用状況  
※過去三年間に利用した人の割合(複数回答)



本県の公共施設は、人口当たりの図書館数が全国一位、博物館数が二位、劇場・音楽会場等数が四位など、充実した環境にあります。

県の各種施設についての利用状況をみると、「海王丸パーク」、「太閤山ランド」、「富山産業展示館(テクノホール)」がベスト3。県民のほぼ二人に一人が過去三年間にこれらの施設を訪れたことがあると答えており、この傾向はここ数年変わっていません。



## 願望

盛りあがった波のような積雪  
壤土がとどかない底に沈む  
凍った白い沈黙がのびる  
わたしは山頂の巖に立って  
「箱船」を呼ぶことになるのですか

幾条もの足跡に  
風花のような  
とおい日の追憶をつめ  
わたしは孤島の陰で  
鎮魂の曲を聞くことになるのですか

紺青の天空を  
霧で隠さないでください  
北アルプスの白布を  
汚さないでほしい  
わたしの衣替えの日が近いのです  
わたしの華麗なお色直しが近いのです



雪原の雷鳥

撮影／松田 勉 詩／上木行博  
写真プレゼントについては13ページ参照



# 雪の季節も 安全・快適に

雪に強い道路の整備



ロータリー除雪車



スノーローダ

県では、雪の季節にも皆さんのくらしを安全・快適で便利なものにするため、さまざまな分野で雪対策を進めています。なかでも道路の雪対策は、重要な施策の一つ。ここでは、道路の雪対策の歴史を振り返るとともに、最近の動きをご紹介します。



38豪雪



56豪雪

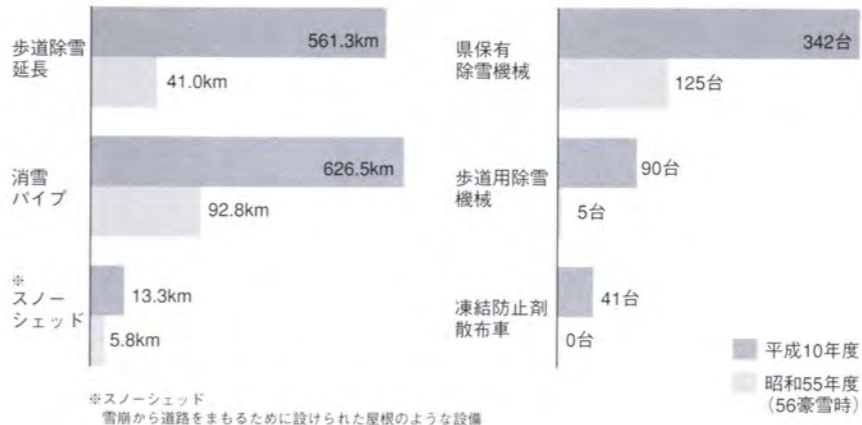
## 雪対策の歴史

**三八豪雪を踏まえて**  
昭和三十八年のいわゆる三八豪雪は、県民生活を大混乱に陥れました。そしてこのことが道路除雪の大切さを痛感させ、道路克雪の技術を進歩させるきっかけとなりました。

**五六豪雪を踏まえて**  
三八豪雪以来、県では除雪機械を増やすとともに、消雪パイプやスノーシエッドを整備するなど、道路の雪対策を進めました。しかし、昭和五十六年に五六豪雪が襲来、また五十九年からは三年連続の大雪に見舞われ、一層の取り組みが望まれるようになりました。このため県では、昭和六十年、都道府県で初めての「富山県総合雪対策条例」を制定。また「富山県総合雪対策基本計画」も策定して、県民総ぐるみによる雪対策をスタートさせました。

## 現在の雪対策

雪を克服する技術はめざましい発展を遂げ、道路の交通は冬でも大きな混乱もなく確保されるようになってきました。五六豪雪時と現在とを比較すると、県が保有する除雪機械の台数は約三倍、消雪パイプの延長は約七倍となっています。



また、除雪車の出動基準や除雪体制を見直したり、ドライバーへの情報提供を充実するなど除雪の内容もレベルアップし、より効率的に行えるようになってきました。

- ① 除雪車が出動する基準の見直し**  
以前は、新たな降雪量十五センチで出動していましたが、現在では、十センチで出動しています。
- ② 除雪体制の見直し**  
以前は、一つの路線を一つの業者が担当していましたが、現在では、複数路線を複数業者が担当する「プロック別除雪」方式を採用しています。
- ③ 除雪に必要な情報機器の整備**  
積雪センサーや路面監視カメラなどを県内各地に設置するなどして、除雪に必要な情報が効率的に収集できるようにになりました。また、これらの情報をドライバーに提供する情報表示板の設置も進んでいます。



道路情報表示板(立山町芦峯寺)

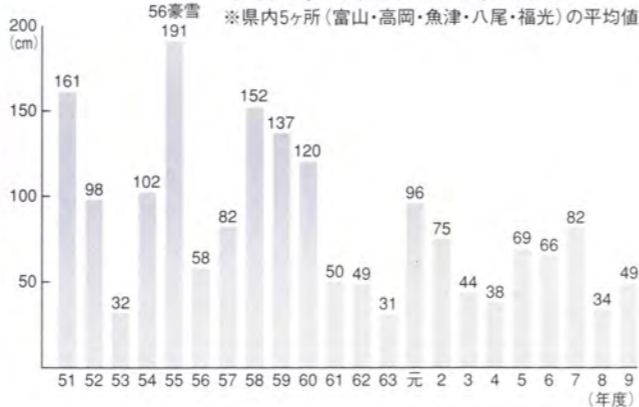
## 県民総ぐるみで雪対策

過去のデータを調べてみると、昭和五十六年や昭和三十八年のほか、昭和二十年、昭和二年も豪雪だったという記録があり、このようなことから、豪雪は十八年周期でやってくるという説もあります。真偽のほどは定かではありませんが、今年(平成十一年)は五六豪雪から数えて十八年目。県では、冬の安全で円滑な道路交通を確保するため、全力で除雪に取り組んでいきます。

県民のみならず、「除雪の障害になる路上駐車は絶対にしない」、「自宅前は進んで除雪する」など、積極的なご協力をお願いします。

問合せ 企画用地課雪対策係  
☎0764-44-3315

最も多く積もった雪の深さ ※県内5ヶ所(富山・高岡・魚津・八尾・福光)の平均値



道路の雪対策も環境への配慮が必要。県では、消雪パイプによる融雪について、節水型のものを設置したり、地下水以外の水源を利用したりして、地下水の保全に努めています。

**■節水型消雪パイプの設置**  
近年新たに設置される消雪パイプの多くは、「交互散水方式」という節水のための工夫が取り入れられています。これは、散水する区間を二分割し、交互に時間を定めて散水するもので、現在では、地下水を利用する消雪パイプのうち半数以上が「交互散水方式」となっています。

また、雪の降りかたによって散水量が変化する消雪パイプも整備されています。



**■地下水以外の利用**  
現在のところ、消雪パイプの水源は、地下水が圧倒的な割合を占めています。一方で河川水などの表流水を利用するものも徐々に増加してきており、約四分の一を占めるまでになりました。このほか、ユニークなところでは、下水処理水を利用したものも設置されているほか、温泉水やトンネルからの湧水を利用した無散水方式による消雪パイプの設置も進められています。



### 漁業調査船「立山丸」竣工

11/20



立山丸

■県の新しい漁業調査船「立山丸」が完成し、十一月二十日、母港の滑川漁港で竣工式が行われました。  
 ■近年、水産業は二百海里体制の定着、漁獲量の減少など多くの課題に直面しており、限られた資源を最大限に活用する「つくり育てる漁業」や「資源管理型漁業」を積極的に進めていくことが求められています。このため、富山湾の魚をはじめとした生態調査や、科学的な資源調査に裏付けられた漁業管理手法の開発などが重要になってきています。

■新しい立山丸は、このような技術開発に対応できるよう、水深二千メートルまでの水温、塩分濃度、溶存酸素量などを連続的に測定してデータ解析で

きる能力を備えているほか、水深千メートルまでの生物を観察できる深海ビデオカメラなど最新の調査機器を搭載しています。研究室などの船内設備も充実しており、富山湾の特性を活用した「資源管理型漁業」の推進に威力を発揮するものと期待されます。  
 ■また、県では現在、二十一世紀の夢を拓く技術開発として、富山湾の深層水の利用研究を進めています。新しい立山丸の竣工によって、この方面での研究成果も期待されています。

### 世界にはばたくベンチャー企業を応援

11/27

■「ベンチャープラザとやま」が十一月二十七日、富山市のポルファートとやまで開催され、約百五十名が参加しました。

■これは、経営ノウハウなどに課題を抱えるベンチャー企業に、投資家や共同経営者との出会いの場を提供するもので、今回が二回目となります。

■県内外十二のベンチャー企業が、三会場に分かれて、建築用耐震補強金具やペットボトルのリサイクルシステム、ホームページの検索ソフトなど多様なビジネスプランを発表。ビデオや製品そのものを使い、その優位性や販売戦略を売り込みました。



ベンチャー企業も投資家も真剣そのもの

■また、ビジネスプランの作成とプレゼンテーションの実践講座も開設され、起業又は新規事業への展開を目指す受講者らは、メモを取りながら熱心に聞き入っていました。

■県では、ベンチャープラザの開催を通して、新たな事業分野創出の担い手として期待されるベンチャー企業を育成・支援し、新たな雇用機会の創出と地域経済の活性化につなげることにしています。

### 国体2000

### イベント参加で国体をPR

11/14

■2000年国体マスコットの時丸・風丸が、十一月十四日と十五日の両日、高岡テクノドームで開催された



ビンゴ大会のステージでも国体をPR

「第十一回とやま県繊維フェア」に参加して、国体への県民参加を呼びかけました。  
 ■この催しは、県内の繊維企業などが新製品の展示や販売などを目的に開いているもの。人気商品が安く買えるとあって、毎年大勢の人でにぎわっています。  
 ■時丸・風丸は、開会式でテープカットをお手伝いしたほか、愛嬌をふりましながら2000年国体をPR。来場者の反応も上々で、特に子どもたちは、握手をしたり抱きついたり大喜びでした。

■また、海外旅行などが当たるビンゴゲームではプレゼンターとして活躍。「選手として参加するだけが国体ではありません。ボランティアや民泊、花いっぱい運動やクリーンアップ運動など、いろんな方法で国体に参加してくださいね」と呼びかけました。

## NPO法スタート 12/1

ボランティア団体をはじめとする市民活動団体が法人格を取得することができる特定非営利活動促進法（NPO法）が、昨年十二月一日に施行されました。

### NPO法の目的は？

■NPOとは、Non-Profit Organizationの略で、一般的に「民間非営利団体」と訳されており、営利を目的としない市民の自発的な組織を意味します。

■現在、ボランティア活動をはじめとする社会貢献活動がこれらの団体によって活発に行われていますが、その多くは法人格を持たない任意団体として活動しています。そのため、銀行口座の開設、事務所の賃借契約、電話の設置などを、団体名義ではなく代表者などの個人名で行わなければならないなどの不都合がありました。

■NPO法は、これらの団体に法人格を取得する道を開いて不都合を解消し、活発な社会貢献活動を促そうというものです。

### 法人格取得の効果は？

■法人格を取得することによって、法律行為の主体として法人名で契約できるようにになり、銀行口座の開設や不動産の登記も可能になります。また、社会的な信用が高まることも期待できるとされています。

■一方、NPO法に基づく法人は、事業報告書の提出、関係者への公開などが必要となるほか、法人としての納税義務も発生します。なお、県では、収益事業を行わない法人について、申請により、法人県民税の均等割額（年額二万円）を減免することになっています。

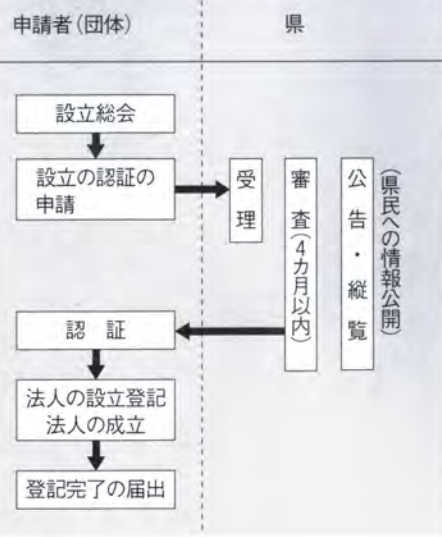
### 法人格を取得できる団体は？

■NPO法に基づいて法人格を取得できる団体の要件は法律で定められており、そのすべてを満たす必要があります。主な要件をご紹介しますと、次のとおりです。

- ◆ 特定非営利活動を行うことを主な目的とすること
- ◆ 営利を目的としないこと
- ◆ 宗教活動、政治活動を主な目的としないこと
- ◆ 選挙活動を目的としないこと
- ◆ 十人以上の社員（総会での議決権を持つ会員のこと）がいること

など

### 法人設立手続きの流れ



(注) 特定非営利活動に該当する12の分野

- ① 保健、医療又は福祉の増進
- ② 社会教育の推進
- ③ まちづくりの推進
- ④ 文化、芸術又はスポーツの振興
- ⑤ 環境の保全
- ⑥ 災害救援
- ⑦ 地域安全
- ⑧ 人権の擁護又は平和の推進
- ⑨ 国際協力
- ⑩ 男女共同参画社会の形成の促進
- ⑪ 子どもの健全育成
- ⑫ ①～⑪の活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助

問合せ 県民生活課ボランティア係

☎0764-44-9012

### 法人となるための手続きは？

■所定の申請書に必要な書類を添付して県（事務所を複数の都道府県に設置する場合は経済企画庁）に提出し、認証を受けてから、登記所で設立の登記を行います。

### 県政モニター募集

2/1まで

■県では、県政に関するアンケートに回答していただくとともに、建設的な意見・要望等を随時提言していただく県政モニターを募集しています。

募集締切 二月一日（当日消印有効）

募集人員 100名

任期 今年四月から二年間

応募資格 県内在住の二十歳以上の方

※公職選挙法による公職者、公務員、過去二年以内の県政

モニター経験者を除く

応募方法 ハガキに次のとおり記載し、

左記まで

ハガキ 〒930-8501（住所記載不要）  
富山県庁広報課

裏面 応募者の住所、氏名（ふりがな）、生年月日、電話番号

ハガキ 職業区分・勤務先  
裏面 職業区分は次の番号を記入  
① 農林・漁業、② 建設・製造業、③ サービス・自由業、④ 主婦、⑤ 無職

各種モニター経験の有無及び内容（例：〇〇年度△△モニター）  
県政モニター応募の抱負（50字程度）

申込・問合せ 広報課  
☎0764-44-3133



県の施設の催しガイド

施設名	開館時間・休館日・入館料	企画展等のお知らせ
近代美術館 ☎0764(21)7111 富山市西中野町1-16-12	9:30~17:00 ㊿月曜・祝日の翌日(1/16は開館) 一般200円 高大160円 小中100円	みんなでつろう'99 2/11(祝)まで 
立山博物館 ☎0764(81)1216 立山町芦峠寺93-1	9:30~17:00 ㊿月曜・祝日の翌日(1/16は開館) まんだら遊苑は、3月末まで休苑です。 一般 高・大 小・中 展示館(常設展示) 300円 240円 150円 通望館(映像ホール) 100円 80円 50円	「山岳映像の魅力-立山-」 2/7(日)14:00~ 会場 県民小劇場オルビス 講師 羽田栄治氏(映像プロデューサー) 上映映像 5月の剣岳 裏剣仙人谷滑降など ※入場無料
立山カルデラ砂防博物館 ☎0764(81)1160 富山地方鉄道立山駅前	9:30~17:00 ㊿月曜・祝日の翌日(1/16は開館) 一般400円 高大320円 小中200円	●ハイビジョン映像上映時刻(約35分間) 10:00 11:00 13:00 14:00 15:00 16:00 「立山カルデラ 大地のドラマ」(立体映像)と「もうひとつの立山」を上映
中央植物園 ☎0764(66)4187 婦中町上巻田42	9:00~16:30 ㊿木曜・祝日の翌日(1/16は開園) 一般600円 小中300円	日曜植物案内 1/10(日)有用植物 2/7(日)熱帯の果実 いずれも11:00~12:00 企画展示「干支にちなんだ植物展」 1/15(祝)まで 
こどもみらい館 ☎0766(56)9000 小杉町黒河(太閤山ランド内)	9:30~17:00 ㊿火曜・第四水曜・祝日の翌日(1/16は開館) 1/18(月) 入館無料	Gutes Spielzeug よい玩具展覧会 1/17(日)まで ドイツの「子どもの遊びと玩具審議会」が厳選した約200点の玩具を展示 こども歳時記「お正月」1/31(日)まで お正月にちなんだ楽しい遊びや工作が体験できます。
公文書館 ☎0764(34)4050 富山市茶屋町33-2	9:00~17:00 ㊿土曜・日曜・祝日 入館無料	常設展示「富山県の誕生と県政の動き」 富山県の誕生の経緯や明治・大正期を中心とした県政の動きを展示します。
埋蔵文化財センター ☎0764(34)2814 富山市茶屋町206-3	9:00~17:00 ㊿土曜・日曜・祝日 入館無料	企画展「高速道路の下に眠る遺跡」 3/31(水)まで 高速道路建設に伴う発掘調査の成果を紹介します。 
太閤山ランド ☎0766(56)6116 小杉町黒河4774-6	9:00~17:00 ㊿火曜・1/18(月) 入園無料 ※12月~3月は太閤山ランドの駐車場が無料です。また日・祝日と第2・第4土曜日は園内無料バスも運行されます。	左義長まつり 1/15(祝)11:00~15:00 園児・小学生の先着500名にお年玉福引き 冬の親子ふれあい大会 2/11(祝)9:30~13:30 大人600円 子供400円(昼食付) 
ウッドルーム富山 ☎0766(56)1570 小杉町黒河新4940	9:00~16:30 ㊿火曜・祝日の翌日(1/16は開館) 一般220円 小中110円 (工作室を使用する場合)	日曜大工教室 1/17(日) スパイスボックスづくり 材料代1,200円(要予約) ウッドクラフト教室 2/21(日) ひな人形の組み木づくり 材料代1,200円(要予約)
帆船海王丸 ☎0766(82)5181 新湊市海王丸海王丸パーク内)	9:30~16:00 ㊿月曜・祝日の翌日(1/16は開館) 一般400円 小中200円	鏡開き大会 1/10(日)10:00~ ※お餅と豚汁のサービスあり。 「帆船海王丸」の満船飾 2/14(日)9:30~ ※ミス海王丸から乗船者に特製バレンタインチョコをプレゼント!
県民小劇場オルビス ☎0764(45)4531 富山駅前マリエ7階	オルビスと巡る「舞台芸術・芸能-発見ライブ」 Vol.8 コンテンポラリーダンスっておもしろい! 1/30(土)18:30~ 前売券3,000円(当日3,500円) ※会員は無料です。 出演/武元賀寿子、梅津和時 	



「休む」と「養う」



生活習慣病を予防するためには「休養」も大事だと聞きましたが、それは、ゆっくり休むということなのでしょうか。それともほかにも大切なことがあるのでしょうか。

(50代男性、会社員)

**A** 食生活の偏りや運動不足のほか、ストレスも生活習慣病の要因といわれます。そこで、ストレスをためないように、「休養」を生活の中にも取り入れることが大切です。

「休む」とは、文字どおり、身体や心を休ませて疲労を解消する受動的な休養のことをいいます。具体的には、静かな所でゆったり過ごしたり、音楽を聴いたり、のんびりと入浴したりすることなどが、これにあたります。

一方、「養う」とは、気分転換を図って新たな活力を生み出す能動的な休養のことで、ストレス解消に効果があります。具体的には、散歩、森林浴、気功、ヨーガなどの軽い運動のほか、旅行やカラオケなどもこれにあたります。生活習慣病を予防するための「休養」とは、その時々々の状態に応じて「休む」と「養う」をうまく組み合わせ、生活の中に取り入れていくことなのです。

今年夏にオープンする国際健康プラザ(仮称)の健康スタジアムでは、気泡浴やミストサウナなど十二種類の浴槽・プールを完備したバーテゾーンや、リラクゼーション、瞑想室などで、「休む」ためのメニューが体験できるほか、大スタジアムでは、気功体操やヨーガ体操など、「養う」ためのメニューを用意し、皆さんの健康状態や希望に応じて、アドバイスや指導を行うことにしています。

問合せ 国際健康プラザ建設室  
☎0764449657

編集部から

先月号から発行部数を若干増やしました。これまでに品切れになることが多かった県刊行物センター(県民会館一階)や高岡文化ホールなどでも、今後は入手しやすくなると思います。

また、編集部では、皆さんが入手しやすい場所への配置をめざし、販路拡大に努めています。高岡駅前観光案内所、滑川駅と砺波駅の待合室、富山空港、富山市の各地区センターに配置したほか、今後も順次、配置箇所を増やしていくことにしています。

「県広報とやま」は原則として毎月二日に発行し、県庁正面窓口、県刊行物センター(県民会館一階)、県税事務所、市町村役場窓口などで無料配布しています。

郵送による定期購読をご希望の場合は、郵便番号、住所、氏名、電話番号、購読期間(〇月号~〇月号)を明記し郵送料として六〇〇円切手を必要枚数(月あたり一枚)同封のうえお申し込みください。

あて先/〒930-8501(住所記載不要)  
富山県庁広報課

1ページで紹介した「チューリップ四季彩館」のチューリップ花びら染めハンカチと、ピンナップとやま(7、8ページ)の写真をそれぞれ5名の方にプレゼントします。官製ハガキに、希望のプレゼント名、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌の入手方法、本誌についての感想を記載して下記までお申し込みください。

●宛先/〒930-8501  
富山県庁広報課  
県広報とやま1月号プレゼント係  
●締切/1月31日(当日消印有効)

11月号プレゼント当選者  
■新湊市博物館「ジグソーパズル富山県地図」  
柚木礼子さん(富山市)、古川則子さん(富山市)  
中村征雄さん(大門町)、深田真美さん(大島町)  
沖博博さん(大坂府)  
■ピンナップとやま写真  
金井豊さん(富山市)、金山隆一さん(富山市)  
大菅正實さん、寺山清美さん、宮下幸子さん(以上高岡市)



とやま  
音のある風景  
Vol.9



裂帛の  
気合が  
響く

大岩山の寒修行(上市町)

上市駅からバスで二十分。大岩山日石寺は、

「大岩不動」の名で全国に知られている。

長い石段が続く百段坂をのぼったところ

にある不動堂は、巨大な一枚岩を取り込

むようにして建てられており、その岩壁

には高さ約三メートルの摩崖仏が彫り出

されている。これが本尊の不動明王坐像で、

寺伝によれば、奈良時代の高僧、行基が

一夜にして彫り上げたものという。

普段、境内は森閑として、サーツという

滝の音が響くだけだが、大寒が近づくと

雰囲気は一変する。家内安全や無病息災

を願うたくさんの人々が全国から集まり、

滝打ちの荒行に挑むのだ。

人々は白装束に身を包み、般若心経を一

心に唱えながら滝に打たれる。凍りつく

ような水の冷たさに肌は真っ赤に染まり、

「エイッ」「ヤーツ」という気合が辺り

に響く。

寒修行が行われる六本滝は、その名のと

おり、約五メートルの高さから流れ落ち

る六条の滝で、それぞれ仏教の六大地、水、

火、風、空、識を表し、打たれる者の煩

悩を洗い落として身を清めるといふ。

大岩山日石寺は、戦国時代末の天正年間、

そして昭和と、二度にわたる火災で多く

の建物を焼失しながら、厚い信仰に支え

られ、その都度再興されてきた。古くか

ら信仰を集める霊場で人々は今も新たな

祈りを捧げ続ける。

※県では昨年、未来に伝えたい、残したい、

県内五十箇所「とやまの音風景」を認定しました。